

質問に対する回答について
工事名) 秋田自動車道 横手工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	<p>質問に対する回答について⑤.pdf の番号5で、</p> <p>「現況林道を使用してのずり搬出を想定しております」とご回答いただいております。現況林道の走行速度は以下のどれかご教示下さい。</p> <p>① 2車線未満の砂利道：20 km/h</p> <p>② 2車線未満の舗装道：25 km/h</p> <p>③ 本線内（工事現場内）一般工事：15 km/h</p> <p>④ 本線内（工事現場内）舗装面・上部路床面：30km/h</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>

<p>2</p>	<p>特記仕様書 P. 92、29-43、P. 40、29-4</p> <p>大沢トンネル終点坑口部、横手トンネル起点坑口部の「押え盛土工」は、本線部(大沢トンネル終点側坑口～横手トンネル起点側坑口)の範囲のため、「道路掘削 土砂A2」で発生する道路掘削土を使用するものと思われませんが、特記仕様書には「本線部(大沢トンネル終点側坑口～横手トンネル起点側坑口)における下部路体への運搬、敷均し、締固め、整形及び仕上げ」しか記載されていません。</p> <p>「道路掘削 土砂A2」のうち、大沢トンネル終点坑口部、横手トンネル起点坑口部の押え盛土工に使用する道路掘削土は、「盛土箇所への運搬」のみを行うものとし、「敷均し、締固め、整形及び仕上げ」は、「押え盛土工」で実施するものと考えてよいかご教示ください。</p>	<p>単価項目 道路掘削 土砂 A2は、押え盛土工使用土砂の攪拌場所までの運搬、敷均し、締固めを実施し、単価項目押え盛土工 改良盛土は、特記仕様書29-43(6)支払に示すとおり、改良材の調整、運搬された土砂と改良材の混合、攪拌箇所からの運搬、押え盛土箇所への敷均し、締固め、整形及び仕上げです。</p> <p>なお、攪拌箇所については貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
<p>3</p>	<p>特記仕様書 P. 45、29-6</p> <p>土木工事積算基準 P. 7-5、4-1_土量換算率(2)に、「購入材料等により出来形検測を行う場合の土量換算率を考慮した割増」とありますが、本工事における盛土工A1、A2についても、盛土材料の割増を考慮しているかご教示ください。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>

4	<p>金抜設計書 番号 41_構造物裏込め工 裏込め工B</p> <p>土木工事積算基準 P. 7-5、4-1_土量換算率 (2) に、「購入材料等により出来形検測を行う場合の土量換算率を考慮した割増」とありますが、本工事における裏込め工Bについても、盛土材料の割増を考慮しているかご教示ください。</p>	<p>質問番号3に対する回答のとおりです。</p>
5	<p>特記仕様書 P. 41、29-4、P. 44、29-5</p> <p>「道路掘削 土砂(表土) A 1～A 6、B 1～B 3」および「客土掘削 土砂(表土) A 1～A 2」の歩掛は「表土削り取り」が適用されているものと考えてよいかご教示ください。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
6	<p>特記仕様書 P. 46、29-7</p> <p>「構造物掘削 普通部A」における軟岩の掘削は、普通ハッパと大型ブレイカのどちらを使用するかご教示ください（「構造物掘削 特殊部」における鋼矢板が騒音・振動を考慮した打込方法となっており、軟岩の掘削について同様の対策が必要か判断できないため）。</p>	<p>普通ハッパの使用を想定しております。</p>

7	<p>金抜設計書 番号 65_切土補強土工 D19・L=6.0m</p> <p>切土補強土D19・L=6.0mは、削孔長が市場単価の適用範囲外ですが、費用の算定は次のどちらで行っているかご教示ください。</p> <p>①L=5mの市場単価を6mに補正</p> <p>②ロックボルト積算資料(参考)、社)全国特定法面保護協会</p> <p>③見積</p> <p>③の場合は単価をご開示ください。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
8	<p>特記仕様書 P.53、29-13</p> <p>かご枠工は次のどちらの積算基準を使用されているかご教示ください。</p> <p>①土木工事積算基準</p> <p>②国土交通省土木工事積算基準書</p> <p>①-1 かごマット工(スロープ型)</p> <p>および①-2 かごマット工(多段積型)</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
9	<p>設計図(7/11) 本線外盛土場 図面番号 64/76</p> <p>「かご枠工0.5m・1.0m数量表」の中詰材の数量が、かご枠容積を超えているように思われますので、ご確認ください。また、ロス率は次のどちらで算定されているかご教示ください。</p> <p>①かご枠容積×(1-0.05):土木工事積算基準</p> <p>②かご枠容積×90%、ロス率10%:国交省基準土木工事積算基準書</p>	<p>単価項目かご枠工 0.5m・1.0mにおける中詰材の数量は1,164.8m³となります。</p> <p>なお、ロス率については積算に関する質問のためお答えできません。</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
10	<p>金抜設計書 番号 155_型わくT</p> <p>型わくTは横手トンネルと大沢トンネルで同一型わくを使用するかご教示下さい。</p>	<p>令和6年10月3日掲載「質問に対する回答について⑬」質問番号4に対する回答のとおりです。</p>

1 1	<p>特記仕様書 P.60、29-20 鉄筋A (E)、C (E)、P (E) におけるエポキシ樹脂塗装工場は、物価資料に記載されているとおり、現場からもっとも近い工場（岩手県奥州市）で行うものと考えてよいかご教示ください。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
1 2	<p>数量明細書 15～16, 18～19/28 ページ 大沢トンネルのトンネル掘削土量の合計 (40, 154. 4m³) がずり処理土量の合計 (40, 134. 4m³) と整合していませんので、ご確認ください。</p>	<p>令和6年10月3日掲載の訂正公告を参照してください。</p>
1 3	<p>質問に対する回答について⑩.pdf の番号1で、 トンネル掘削DⅢ a (H) - A - K (E C)における中央導坑の小口径長尺鋼管先受工の鋼管撤去にかかる費用の計上先をご教示ください。</p>	<p>単価項目 トンネル掘削 DⅢ a (H) - A - K (E C) です。</p>
1 4	<p>特記仕様書 P.67_29-24、設計図 (1/11)1～2/120 ずり処理A 1 (O) の本線部（施工箇所起点～大沢トンネル起点側坑口）への土運搬ルートは次のどちらかご教示ください。 ①大沢トンネル貫通後、同トンネルを經由し運搬 ②虫内工事用進入路より土淵トンネルを經由し運搬 ①の場合、大沢トンネル貫通までの間のずり仮置場をご教示ください。</p>	<p>令和6年10月31日掲載「質問に対する回答について⑩」質問番号13に対する回答のとおりです。</p>

15	<p>特記仕様書 P. 15、11-3、P. 67～68、29-24</p> <p>前郷地区本線外盛土場以外に運搬するトンネルずりのうち、夜間に発生するトンネルずりは盛土先に直接運搬せず、仮置きすればよいかご教示ください。仮置きする場合は、仮置き場所は冬期間仮置場と考えてよいかご教示ください。</p>	<p>特記仕様書 11-3に記載する以外の作業について、夜間作業は実施できません。よって、夜間に発生するずりについて前郷地区本線外盛土場以外への運搬時は仮置きが必要になります。なお、仮置き場所については貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
16	<p>金抜設計書 番号 226_地表面沈下測定B</p> <p>測定費用は次のどちらで算定されているかご教示ください。</p> <p>①土木工事積算基準を使用</p> <p>②見積</p> <p>②の場合は単価をご開示ください。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
17	<p>特記仕様書 P. 76, 29-31</p> <p>踏掛版工の特記仕様書に、掘削残土に関する記述されています。掘削場所および掘削数量をご教示ください。</p>	<p>掘削場所は、共通仕様書 18-9-2に記載のとおり、踏掛版の床付面です。</p> <p>掘削数量は、共通仕様書 18-9-2に示す床付け面の整形に必要な数量としてお考えください。</p>
18	<p>特記仕様書 P. 76, 29-32(2)</p> <p>構造物等取壊し工の「支払」に「アスファルト舗装版の取壊し、切断・・・」と記載されていますが、設計図、閲覧資料に切断数量が記載されていません。アスファルト舗装版の切断数量をご教示ください。</p>	<p>設計図書より貴社にて算出してください。</p>
19	<p>特記仕様書 P. 24, 16-1、設計図(10/11)12/12</p> <p>標識車上の車載式標識についても受注者側で調達するものと考えてよいかご教示ください。</p>	<p>そのとおりです。</p>

20	<p>設計図(8/11) 図面番号 100/109 土木工事積算基準 P. 7-5、4-1_土量換算率 (2) に、「購入材料等により出来形検測を行う場合の土量換算率を考慮した割増」とありますが、本工事における防護柵基礎タイプA、BおよびL型擁壁タイプA、Bの裏込めBについても、盛土材料の割増を考慮しているかご教示ください。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
21	<p>金抜設計書 番号 277_置換工 土木工事積算基準 P. 7-5、4-1_土量換算率 (2) に、「購入材料等により出来形検測を行う場合の土量換算率を考慮した割増」とありますが、本工事における置換工についても、盛土材料の割増を考慮しているかご教示ください。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
22	<p>金抜設計書 番号 278_深層混合処理A 深層混合処理Aの施工費の算出に使用している積算基準は次のどちらかご教示ください。 ①国土交通省土木工事積算基準書 ⑪-3 スラリー攪拌工 ②CI-CMC 工法 積算資料</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
23	<p>特記仕様書 P. 86、29-39 大沢トンネルの中央導坑で施工する「小口径長尺鋼管先受け工 打設工 (O) および注入工 (O)」の労務編成は、中央導坑 (D I - K - S - M (O)) の掘削時の労務編成 (トンネル世話役1名、トンネル特殊工3名) と同様と考えてよいかご教示ください。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>

24	<p>特記仕様書 P.93～94、29-44</p> <p>「盛土付帯工 遮水シート」のうち、遮水シート、保護マットの材料ロス率をご教示ください。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
25	<p>特記仕様書 P.96、29-45</p> <p>「軽量盛土工_コンクリート床版」の積算に使用する代価は次のどちらかをご教示ください。</p> <p>①土木工事積算基準 第13編の各種代価</p> <p>②国交省土木工事積算基準 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
26	<p>特記仕様書 P.100、29-47</p> <p>仮設落石防護柵で使用する仮設材(C-200*90、L-75*75、H-100*100、H-300*300、軽量鋼矢板、覆工板)の仮置き後の処理方法は、次のどちらと考えるとよいかをご教示ください。</p> <p>①仮置き場からリース基地に運搬、返却</p> <p>②仮置き場にそのまま留置</p> <p>②の場合、仮設材賃料の単価設定にかかわりますので、留置する期間をご教示ください。</p>	<p>令和6年10月23日掲載「質問に対する回答について⑯」質問番号9に対する回答のとおりです。</p>
27	<p>設計図(9/11) 図面番号 29/29</p> <p>施工ヤードで使用する敷鉄板は中古品、新品のいずれかをご教示ください。</p>	<p>令和6年11月1日掲載「参考積算条件書」を参照ください。</p>
28	<p>特記仕様書 P.102, 29-48</p> <p>除雪工で使用するバックホウおよびホイールローダは冬期期間中、現場内に留置する計画とされているかをご教示ください。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>

29	<p>割掛参考内訳書 P.2、工事用機械分解組立費（トンネル関係）</p> <p>「油圧切削機 2,100 kg級」は、質量20t 以上ですが、分解、組立が生じない建設機械と思われます。本項で計上する内容は「20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬および運搬時の本体損料」を計上すればよいかご教示ください。</p>	そのとおりです。
30	<p>割掛参考内訳書 P.10、汚濁水処理設備上屋費</p> <p>汚濁水処理設備上屋の構造が不明ですので、図面をご教示ください。</p>	割掛対象表参考内訳書に関する質問にはお答えできません。
31	<p>PC上部工について</p> <p>中里橋のPC上部工の積算において、一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設協会発行の『令和4年度版 PC斜材付きπ型ラーメン橋 標準積算要領』を参考にされていますでしょうか。ご教示いただけますと幸いです。</p>	積算に関する質問にはお答えできません。
32	<p>コンクリートブロック積工</p> <p>コンクリートブロック積み(練)控 35cmA</p> <p>コンクリートブロック積工において、足場に係る費用は割掛項目ではなく、当該単価項目に含まれると理解してよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	特記仕様書29-1(2)支払1)に記載のとおり、契約単価の支払にはコンクリートブロック積みの施工に要するすべての費用を含みますので、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。

3 3	<p>ずり処理工</p> <p>特記仕様書 P. 15 11-2 冬期休止期間において、トンネル工の摘要欄に「トンネル坑外作業を含む(ただし、一般道を通るトンネルずり運搬を除く)」の記載されています。一方、特記仕様書 P. 67 におけるずり処理工の区分において、搬出箇所へ一般道を使用する箇所が含まれていると思われま。また、特記仕様書 P. 15 11-3 夜間作業より、前郷本線外盛土場への搬出は行うことができるとの記載されております。これらの記載を踏まえ、以下の解釈で正しいでしょうか：</p> <p>夜間は前郷本線外盛土場へ搬出し、昼間は P. 67 に記載のずり処理工の区分に従って各箇所へ搬出する。ご教授頂きますよう、お願い致します。</p>	そのとおりです。
3 4	<p>ずり処理工</p> <p>上記質問に関連して、夜間に前郷本線外盛土場へ搬出する場合、仮置き場所の指定が図面上にありません。この場合、参考図 72/72 に記載されている「トンネルずり冬期仮置き場」と同じ場所を使用すると理解してよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	質問番号 1 5 に対する回答のとおりです。
3 5	<p>ずり処理工 C2</p> <p>特記仕様書 P. 67 のずり処理工 C2 の区分に関して、以下の点についてご教示いただけますでしょうか。ずり処理工 C2 の区分では、掘削ずりを坑外仮置場等に運搬する記載が見当たりません。このことから、掘削したずりを直接インバート埋戻箇所へ運搬すると理解してよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	令和 6 年 1 0 月 3 1 日掲載「質問に対する回答について⑧」質問番号 2 2 ・ 2 3 に対する回答のとおりです。

36	<p>ずり処理工</p> <p>ずり処理工において、冬期期間外に搬出する分について、前郷本線外盛土場内の仮置き場を使用せず、坑内から直接搬出箇所へ運搬と理解してよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>令和6年10月31日掲載「質問に対する回答について⑱」質問番号12に対する回答のとおりです。</p>
37	<p>【訂正】06-01_設計図 (本線(上り線))</p> <p>1,2,3/120 位置図</p> <p>位置図に関して、国道107号(区間3)の距離が12,300mと記載されております。しかし、地図上で確認したところ、13,400m程度あるように見受けられます。距離をご確認頂き、ご教示いただけますでしょうか。</p>	<p>国道107号(区間3)の距離について、正しくは13,400mとなります。</p> <p>交付資料の一部に誤りがありましたので後日訂正します。</p>
38	<p>鏡吹付工</p> <p>9月10日付けの質問回答番号3に関して、以下の3点についてご教示いただけますでしょうか。</p> <p>回答では「鏡吹付けの撤去はトンネル掘削の各単価項目に含まれます」とありますが、</p> <p>①この撤去作業には、鏡吹付壊し・運搬・選別のすべてが含まれているのでしょうか。</p> <p>②それとも、壊しのみが計上されているのでしょうか。</p> <p>③運搬が含まれている場合、運搬先はどちらになりますでしょうか。</p> <p>ご教示いただけますでしょうか。</p>	<p>令和6年10月31日掲載「質問に対する回答について⑱」質問番号2に対する回答のとおりです。</p>
39	<p>豪雪補正</p> <p>本工事では冬期休止期間が設けられていますが、この場合、機械損料における豪雪地域補正は適用されないと理解してよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできませんので貴社で必要な費用を計上してください。</p>